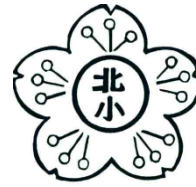


北小物語2018



平成30年 6月 6日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (19)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『いい顔』『いい声』『いい心』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第19話：「体験は力なり～5年生の『いい顔』：野外宿泊学習～」の巻 ☆☆☆



5/31・6/1：5年生野外宿泊学習 IN 世知原少年自然の家



体験こそ「生きる力」なり!

舞台は世知原少年自然の家。5月31日(木)から6月1日(金)にかけて、5年生「野外宿泊学習」を実施しました。「自然は無言の教師」と言われます。楽しさも怖さも教えてくれる大自然の中で、31名の腕白たちは、トムソーヤならぬ大冒険(?)を体と心いっぱい満喫してきました。

全校児童に見送られ、スクールバス2台で北小を出発した5年生一行が、まず向かったところは松浦市にある「中興化成工業」。東京ドームなど野球場の屋根の部分設計・施工する工場を見学しました。世知原に到着後は、入所式を済ませ、班対抗の森林グループワークに熱中です。全員の知恵で、森の中に潜む問題を解き、「わっしょい! わっしょい!」のかけ声でゴールをめざしました。夕方は、楽しみの



飯盒炊さん。みんなで協力して美味しいカレーを作りました。マイナスイオンあふれる森の中でのディナーは最高の一言! その後、夜間歩行でホテルと出会い、一日の汗を大浴場で流して、床に就きました。二日目は、待ちに待った沢のぼり。大きな岩に深い淵をクリアーしながら、みんなで声をかけ合い、見事、全員ゴールの感動を味わいました。一人一人が役割をもち、意欲的に活動に参加する積極性、メンバーを大切に助け合う思いやりの心、自然をリスペクトする愛護の精神、そして、みんなでやり遂げる喜びと達成感に浸りきった貴重な二日間でした。まさに、体験は「生きる力」です。

活動を終えて学校に帰ってきた子どもたちは、ひと回り大きく頼もしく見えました。世知原でのこのかけがえのない体験が、これからの北小を支え導く力となってくれることを信じています。「おかえり!」

